ユーザーインターフェースを理解する

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/storage-mgmt/concept_understand_user_interface.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

ユーザーインターフェースを理解する . . . 1
- Active IQ Unified Manager ユーザーインターフェースについて . . . 1
- Active IQ Unified Manager の一般的なウィンドウレイアウト . . . 1
  - オブジェクト リスト ウィンドウのレイアウト . . . 1
  - オブジェクト詳細ウィンドウのレイアウト . . . 1
- Active IQ Unified Manager でのウィンドウレイアウトのカスタマイズ . . . 2
- Active IQ Unified Manager ヘルプの使用 . . . 3
- Active IQ Unified Manager でお気に入りのヘルプ トピックをブックマークする . . . 3
- Active IQ Unified Manager でストレージオブジェクトを検索する . . . 4
- Active IQ Unified Manager でストレージデータをレポートとしてエクスポート . . . 5
- Active IQ Unified Manager でインベントリページのコンテンツをフィルタリングする . . . 6
  - フィルタリングの例 . . . 7
- Active IQ Unified Manager の通知ベルからアクティブなイベントを表示する . . . 8

ユーザーインターフェースを理解する

Active IQ Unified Manager ユーザーインターフェースについて

Unified Manager のユーザーインターフェースは、主に監視対象オブジェクトを一目で確認できるダッシュボードで構成されています。ユーザーインターフェースからは、クラスタ内のすべてのオブジェクトを表示することもできます。

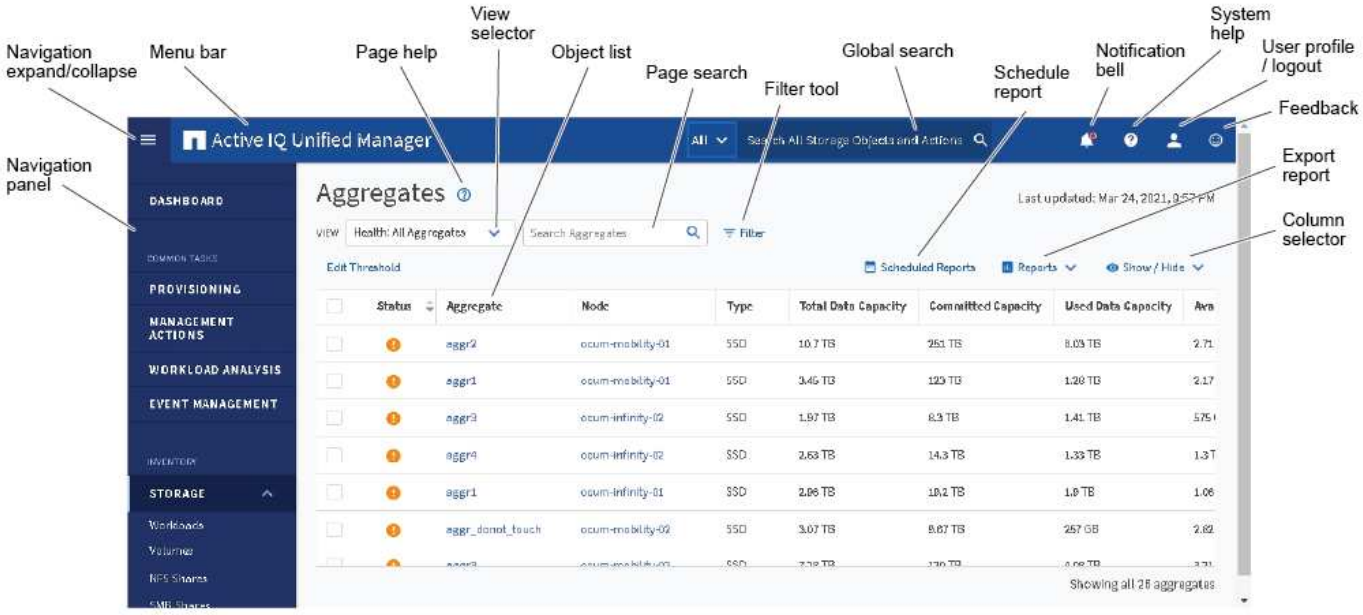
必要に応じて、優先するビューを選択したり、操作ボタンを使用したりできます。画面設定はワークスペースに保存されるため、Unified Manager を起動すると必要なすべての機能が利用可能になります。ただし、あるビューから別のビューに移動してから元のビューに戻ると、ビューが同じにならない場合があります。

Active IQ Unified Manager の一般的なウィンドウレイアウト

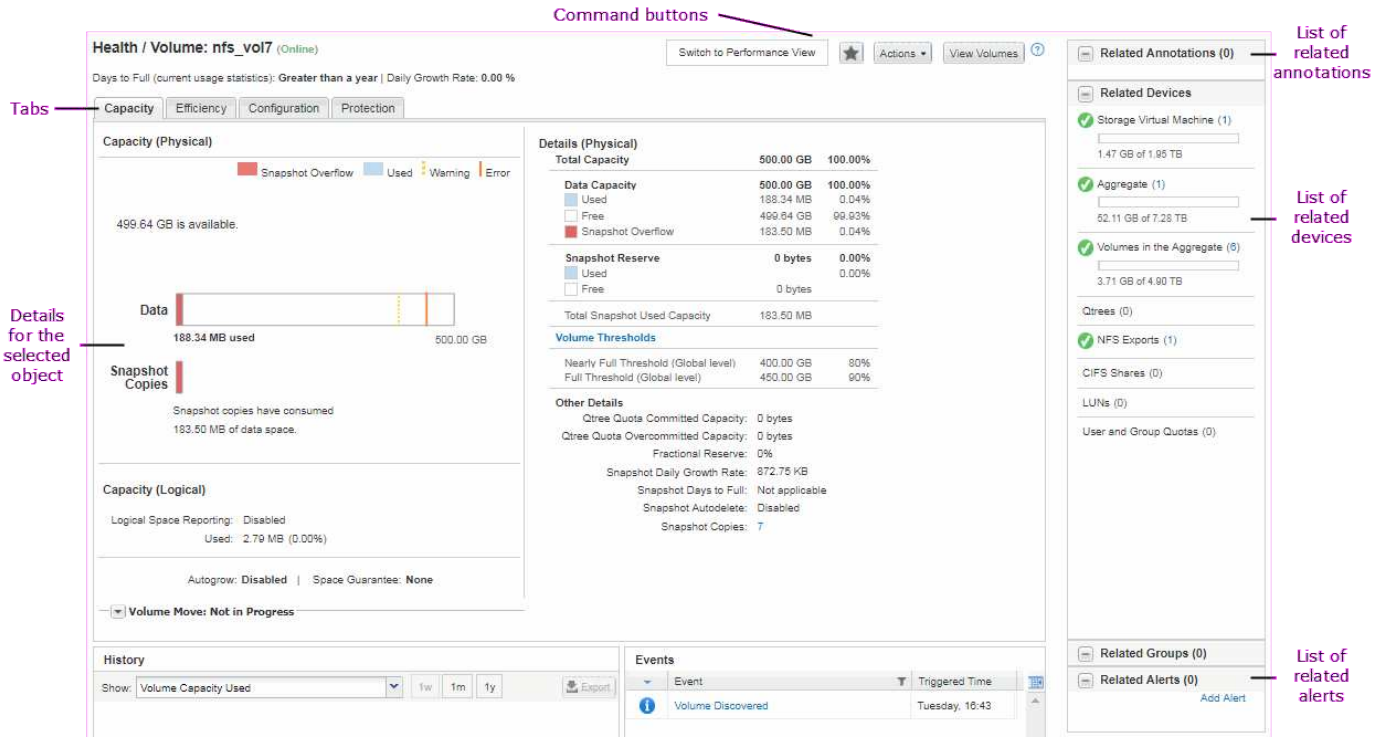
一般的なウィンドウ レイアウトを理解しておくと、Active IQ Unified Managerを効果的に操作して使用できるようになります。Unified Manager のウィンドウのほとんどは、オブジェクト一覧表示または詳細表示という2つの一般的なレイアウトのいずれかに似ています。推奨されるディスプレイ設定は、最低でも1280×1024ピクセルです。

次の図に示すすべての要素がすべてのウィンドウに含まれているわけではありません。

オブジェクト リスト ウィンドウのレイアウト



オブジェクト詳細ウィンドウのレイアウト



Active IQ Unified Manager でのウィンドウレイアウトのカスタマイズ

Active IQ Unified Managerを使用して、ストレージ オブジェクトとネットワーク オブジェクトのページに表示される情報のレイアウトをカスタマイズできます。ウィンドウをカスタマイズすることによって、表示するデータやその表示方法を制御できます。

- 並べ替え

  列ヘッダーをクリックすると、列エントリの並べ替え順序を変更できます。列ヘッダーをクリックすると、その列に並べ替え矢印（▲ および ▼）が表示されます。

- フィルタリング

  フィルターアイコン（）をクリックして、ストレージおよびネットワークオブジェクトページの情報表示をカスタマイズするためにフィルタを適用し、指定された条件に一致するエントリのみが表示されるようにすることができます。フィルターは「フィルター」ペインから適用します。

  フィルターペインを使用すると、選択したオプションに基づいてほとんどの列をフィルタリングできます。例えば、「健全性：すべてのボリューム」ビューでは、フィルターペインを使用して、「状態」の下にある適切なフィルターオプションを選択することで、オフラインになっているすべてのボリュームを表示できます。

  リスト内の容量関連の列には、常に適切な単位で容量データが表示され、小数点以下第2位まで四捨五入されます。これは、容量列をフィルタリングする場合にも当てはまります。例えば、「Health: All Aggregates」ビューの「Total Data Capacity」列のフィルターを使用して、20.45 GB を超えるデータをフィルタリングした場合、実際の容量である 20.454 GB は 20.45 GB と表示されます。同様に、20.45 GB 未満のデータをフィルタリングした場合、実際の容量である 20.449 GB は 20.45 GB と表示されます。

「Health: All Aggregates」ビューの「Available Data %」列のフィルターを使用して、20.45%を超えるデータをフィルタリングした場合、実際の容量である20.454%が20.45%と表示されます。同様に、データを20.45%未満にフィルタリングした場合、実際の容量である20.449%は20.45%と表示されます。

- 列の表示/非表示を切り替える

  列表示アイコン（表示/非表示）をクリックすると、表示したい列を選択できます。適切な列を選択したら、マウスを使ってドラッグすることで列の順序を変更できます。

- 検索中

  検索ボックスを使用して特定のオブジェクト属性を検索することで、インベントリページに表示されるアイテムのリストを絞り込むことができます。たとえば、「cloud」と入力してボリューム インベントリ ページ内のボリュームのリストを絞り込むと、「cloud」という単語が含まれているすべてのボリュームを表示できます。

- データのエクスポート

  *Reports*ボタン（または*Export*ボタン）をクリックして、データをカンマ区切り値 `(.csv)`ファイル、`(.pdf)`ドキュメント、またはMicrosoft Excel `(.xlsx)`ファイルにエクスポートし、エクスポートしたデータを使用してレポートを作成できます。

Active IQ Unified Manager ヘルプの使用

このヘルプは、Active IQ Unified Managerに含まれているすべての機能に関する情報を提供します。目次、索引、または検索ツールを使用すると、機能に関する情報と機能の使用方法を検索できます。

Unified Managerのユーザーインターフェースの各タブおよびメニューバーからヘルプを利用できます。

ヘルプの検索ツールは一部の単語だけを入力しても機能しません。

- 特定のフィールドやパラメータについては、をクリックしてください。
- ヘルプコンテンツ全体を表示するには、メニューバーで > ヘルプ/ドキュメント をクリックしてください。

  ナビゲーション ペインで目次の一部を展開すると、より詳細な情報を参照できます。

- ヘルプコンテンツを検索するには、ナビゲーションペインの「Search」タブをクリックし、検索したい単語または単語の組み合わせを入力して、「Go!」をクリックします。
- ヘルプ トピックを印刷するには、プリンタのアイコンをクリックします。

Active IQ Unified Manager でお気に入りのヘルプ トピックをブックマークする

「ヘルプのお気に入り」タブでは、よく使うヘルプトピックをブックマークできます。ブックマーク機能を使えば、お気に入りのトピックに素早くアクセスできます。

手順

1. お気に入りに登録するヘルプ トピックに移動します。
2. 「お気に入り」をクリックし、次に「追加」をクリックします。

Active IQ Unified Manager でストレージオブジェクトを検索する

特定のオブジェクトにすばやくアクセスするには、メニューバー上部の「すべてのストレージオブジェクトを検索」フィールドを使用できます。この、すべてのオブジェクトを対象としたグローバル検索方法により、種類別に特定のオブジェクトをすばやく見つけることができます。検索結果はストレージオブジェクトの種類ごとに並べ替えられ、ドロップダウンメニューを使用してオブジェクトごとにさらに絞り込むことができます。

開始する前に

- このタスクを実行するには、オペレーター、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のいずれかの役割が必要です。
- 検索キーワードは3文字以上入力する必要があります。

ドロップダウン メニューで[すべて]を選択すると、グローバル検索によってすべてのオブジェクト カテゴリで見つかった結果の総数が表示されます（オブジェクト カテゴリごとに最大25件）。ドロップダウン メニューで特定のオブジェクト タイプを選択すると、検索の対象をそのオブジェクト タイプに絞り込むことができます。この場合、結果のリストに表示されるオブジェクトの数は上位25個に限定されません。

検索対象として選択できるオブジェクト タイプは次のとおりです。

- クラスタ
- ノード
- Storage VM
- アグリゲート
- ボリューム
- qtree
- SMB共有
- NFS共有
- ユーザ / グループ クォータ
- LUN
- NVMe ネームスペース
- イニシエータ グループ
- Initiators
- 整合性グループ

ワークロード名を入力すると、該当する[ボリューム]または[LUN]カテゴリの下にワークロードの一覧が表示されます。

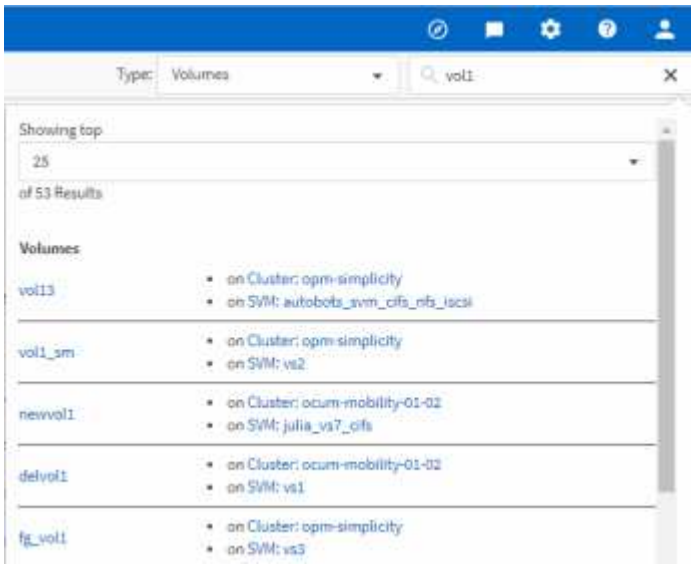
検索結果でいずれかのオブジェクトをクリックすると、そのオブジェクトの[健全性の詳細]ページが表示されます。オブジェクトに直接対応する[健全性]ページがない場合は、親オブジェクトの[健全性]ページが表示されます。たとえば、特定のLUNを検索する場合は、そのLUNが配置されているSVMの詳細ページが表示されます。

ポートとLIFはグローバル検索バーでは検索できません。

手順

1. メニューでオブジェクト タイプを選択して、検索結果を特定のオブジェクト タイプに絞り込みます。
2. 「すべてのストレージオブジェクトを検索」フィールドに、オブジェクト名の3文字以上を入力します。

   この例では、ドロップダウンボックスで「ボリューム」オブジェクトタイプが選択されています。「すべてのストレージオブジェクトを検索」フィールドに「vol1」と入力すると、名前にこの文字が含まれるすべてのボリュームのリストが表示されます。



Active IQ Unified Manager でストレージデータをレポートとしてエクスポート

ストレージ データをさまざまな出力形式でエクスポートし、エクスポートしたデータを使用してレポートを作成できます。たとえば、未解決の重大イベントが10件ある場合、[イベント管理]インベントリ ページからデータをエクスポートしてレポートを作成し、問題を解決できる管理者にそのレポートを送信することができます。

*ストレージ*および*ネットワーク*のインベントリページから、データを `.csv`ファイル、 `.xlsx`ファイル、または `.pdf`ドキュメントにエクスポートし、エクスポートしたデータを使用してレポートを作成できます。製品には他にも、 `.csv`または `.pdf`ファイルのみを生成できる場所があります。

手順

1. 次のいずれかを実行します。

エクスポートしたい場合は...	操作
ストレージ オブジェクトのインベントリの詳細	左側のナビゲーションメニューから「ストレージ」または「ネットワーク」をクリックし、ストレージ オブジェクトを選択します。システムが提供するビュー、または作成したカスタム ビューを選択します。
QoSポリシー グループの詳細	左側のナビゲーションメニューから*ストレージ*>*QoSポリシーグループ*をクリックします。
ストレージ容量と保護の履歴の詳細	**Storage** > **Aggregates** または **Storage** > **Volumes** をクリックし、単一のアグリゲートまたはボリュームを選択します。
イベントの詳細	左側のナビゲーションメニューから*イベント管理*をクリックします。
上位10個のストレージ オブジェクトのパフォーマンスの詳細	ストレージ > クラスタ > *パフォーマンス：すべてのクラスタ*の順にクリックし、クラスタを選択して*上位パフォーマンス*タブを選択します。次に、ストレージ オブジェクトとパフォーマンス カウンタを選択します。

2. *レポート*ボタン（または一部のUIページでは*エクスポート*ボタン）をクリックします。
3. エクスポート要求を確定するには、**CSV**をダウンロード、**PDF**をダウンロード、または*Excelをダウンロード*をクリックします。

   「トップパフォーマー」タブから、表示している単一のクラスターの統計レポート、またはデータセンター内のすべてのクラスターの統計レポートをダウンロードできます。

   ファイルがダウンロードされます。
4. ファイルを適切なアプリケーションで開きます。

関連情報

"[健全性/クラスタインベントリ ページ"]

"レポートのスケジュール設定"

Active IQ Unified Manager でインベントリページのコンテンツをフィルタリングする

Unified Managerでインベントリ ページのデータをフィルタリングし、特定の条件に基づいてデータをすばやく特定できます。フィルタリングを使用すると、Unified Managerのページの内容を絞り込んで、関心のある結果だけを表示できます。そのため、関心のあるデータだけを効率的に表示できます。

「フィルタリング」を使用して、好みに合わせてグリッド表示をカスタマイズできます。利用可能なフィルターオプションは、グリッドに表示されているオブジェクトの種類に基づいています。現在フィルターが適用されている場合、適用されているフィルターの数がフィルターボタンの右側に表示されます。

次の3種類のフィルタ パラメータがサポートされています。

パラメータ	検証
文字列（テキスト）	演算子は、含む、で始まる、で終わる、*含まない*です。
数値	演算子は、**greater than**、**less than**、**in the last**、**between** です。
列挙（テキスト）	演算子は「is」と「is not」です。

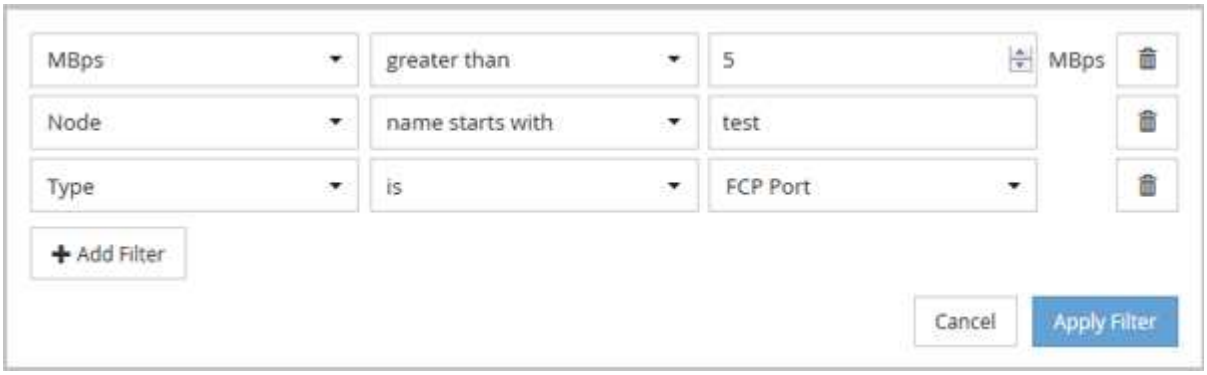
それぞれのフィルタに、[列]、[演算子]、[値]の各フィールドが必要です。使用可能なフィルタは、現在のページのフィルタ可能な列に基づいて決まります。適用できるフィルタは4つまでです。フィルタ パラメータの組み合わせに基づいてフィルタされた結果が表示されます。フィルタされた結果は、現在表示しているページだけでなく、フィルタで検索するすべてのページに適用されます。

フィルタは[フィルタ]パネルで追加できます。

1. ページ上部の「フィルター」ボタンをクリックします。フィルタリングパネルが表示されます。
2. 左側のドロップダウンリストをクリックしてオブジェクトを選択します。たとえば、*Cluster* やパフォーマンスカウンターなどです。
3. 中央のドロップダウン リストをクリックし、使用する演算子を選択します。
4. 最後のリストで、値を選択または入力してそのオブジェクトのフィルタを完成させます。
5. 別のフィルターを追加するには、「+Add Filter」をクリックしてください。追加のフィルターフィールドが表示されます。前述の手順に従って、このフィルターを完成させてください。4つ目のフィルターを追加すると、「+Add Filter」ボタンが表示されなくなることに注意してください。
6. *フィルターを適用*をクリックします。フィルターオプションがグリッドに適用され、フィルターの数がフィルターボタンの右側に表示されます。
7. 個々のフィルタを削除するには、[フィルタ]パネルで、削除するフィルタの右にあるごみ箱のアイコンをクリックします。
8. すべてのフィルターを解除するには、フィルタリングパネルの下部にある「Reset」をクリックしてください。

フィルタリングの例

この図は、3つのフィルターが表示されたフィルタリングパネルを示しています。「+Add Filter」ボタンは、フィルターの数が最大4つ未満の場合に表示されます。



*「フィルターを適用」*をクリックすると、フィルターパネルが閉じ、フィルターが適用され、適用されたフィルターの数が表示されます（  ）。

Active IQ Unified Manager の通知ベルからアクティブなイベントを表示する

メニューバーの通知ベル（）を使用すると、Unified Manager が追跡している最も重要なアクティブなイベントをすばやく表示できます。

アクティブ イベントのリストでは、すべてのクラスタの重大イベント、エラー イベント、警告イベント、アップグレード イベントの総数を確認できます。このリストには過去7日間のイベントが含まれ、情報イベントは含まれていません。リンクをクリックすることで、関心のあるイベントのリストを表示できます。

クラスターにアクセスできない場合、Unified Manager はこのページにその情報を表示します。「詳細」ボタンをクリックすると、アクセスできないクラスターに関する詳細情報を表示できます。この操作でイベントの詳細ページが開きます。このページには、管理ステーションの空き容量不足や RAM 不足など、スケール監視に関する問題も表示されます。

手順

1. メニューバーからをクリックします。
2. アクティブ イベントの詳細を表示するには、「2 容量」や「4 パフォーマンス」などのイベント テキストのリンクをクリックします。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。